

KDviewDF2 for Windows



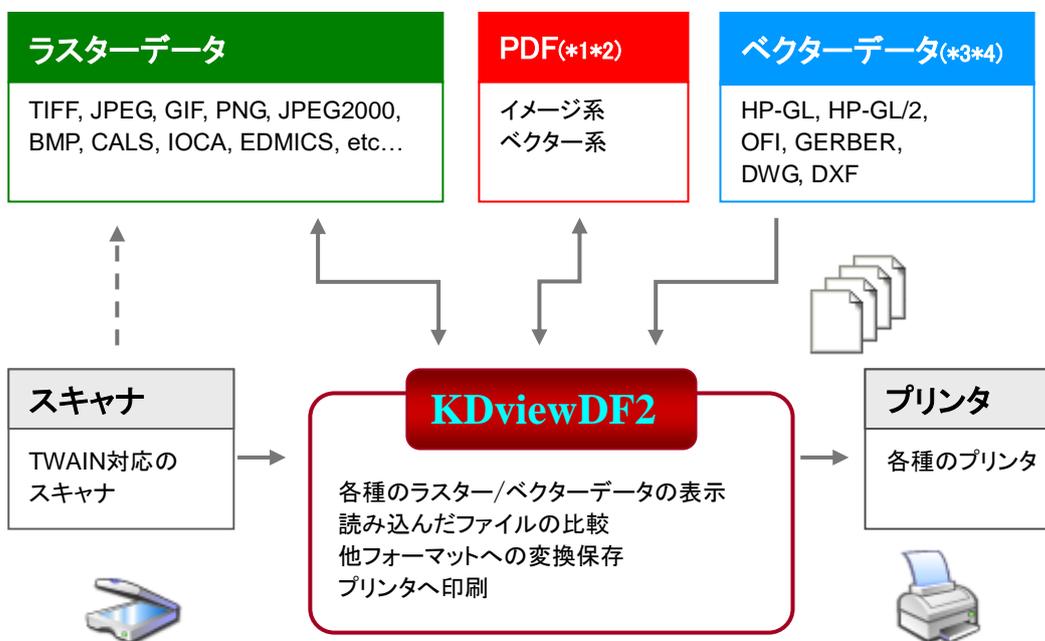
Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056

横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル 6 階
TEL: 045-442-0500 FAX: 045-442-0501
URL: <https://www.kernelcomputer.co.jp/>

製品概要

電子データ図面(各種のラスター/ベクターデータ)を自動認識して表示を行います。
2つのデータを比較し、結果を表示できます。
スキャナから読み込まれたズレや歪みのあるデータも、補正して比較できます。
開いたファイルを、KDviewDF2が対応する別のフォーマットへ変換して保存できます。
大きいサイズ(A0サイズ超)のデータの読み込みに対応しています。



- *1 入力するPDFのバージョンは1.7(Acrobat8.0)までに対応しています。
- *2 KDviewDF2からPDFに保存する場合、イメージ系PDFに変換されます。
- *3 ベクターデータはイメージデータに変換して表示されます。
- *4 KDviewDF2からベクターデータに保存することはできません。

動作環境

対応 OS :

- ・ Microsoft Windows 7
- ・ Microsoft Windows 8
- ・ Microsoft Windows 8.1
- ・ Microsoft Windows 10
- ・ Microsoft Windows Server 2008
- ・ Microsoft Windows Server 2008 R2
- ・ Microsoft Windows Server 2012
- ・ Microsoft Windows Server 2012 R2

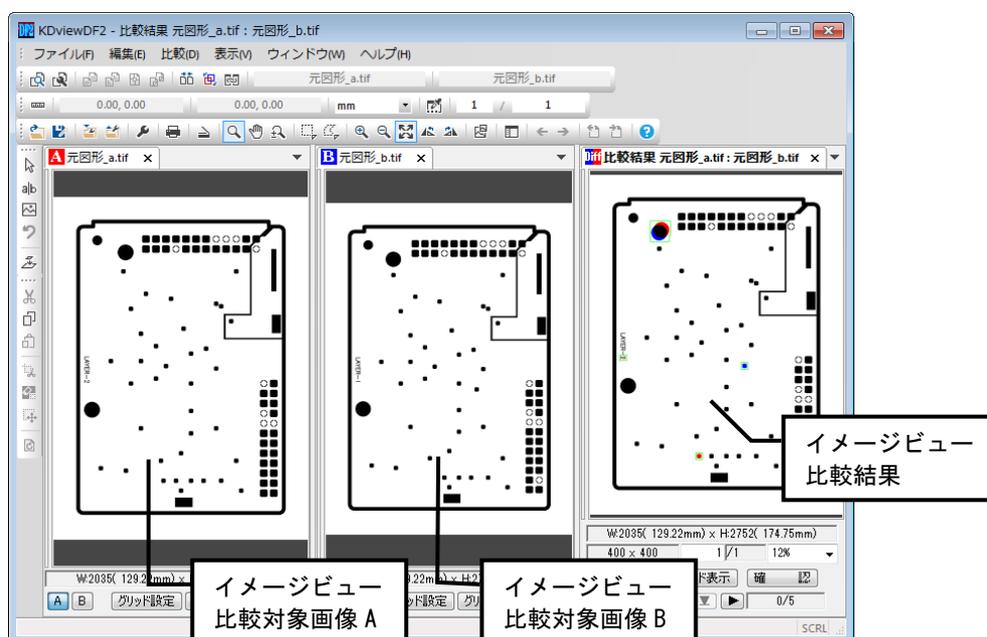
クライアント環境として動作している PC でのみ利用できます。
64 ビット環境では、32 ビットアプリケーションとして動作します。

価格

30 万円 / 1 ライセンス ~

注: KDviewDF for Windows と KDviewDF2 for Windows とは別製品となります。

基本画面



主要機能

【入力】

- ・プリント・プロット、CAD データの表示に対応しています。
- ・TIFF、PDF、JPEG 2000 などを含む、60 種類以上のラスターフォーマットの表示に対応しています。

【出力】

- ・開いたファイルを別フォーマットのファイルとして出力(保存)することが可能です。
- ・比較した結果を KDviewDF2 独自の形式のファイルとして保存することが可能です。
(他の形式で保存した場合、差分検索機能などを後から利用することはできません。)

【プリント・プロット、CAD データについて】

- ・ペン番号、色番号による線幅、色(カラー出力時のみ)の設定が可能です。
- ・HP-GL/2、OFI データのラスター/ベクター混在データをサポートしています。
- ・CAD データ(DXF、DWG)の読み込みには複数の制限があります。
詳細については【制限事項】をご参照ください。
- ・HP-GL/2 を表示する場合、上書き/透過の設定、線端/線接続の形状設定などが可能です。
- ・標準 GERBER(RS-274D)、拡張 GERBER データ(RS-274X)をサポートしています。
アパーチャデータの指定が可能です。

【表示】

- ・複数のファイルをタブ形式で表示します。(ウィンドウ形式で表示することも可能です)
- ・距離計測機能によって、指定した2点間の距離を表示できます。(7 ページ【機能サンプル】-[機能 4])
- ・グリッド機能によって格子状の線を表示できます。(7 ページ【機能サンプル】-[機能 5])
- ・マルチディスプレイ環境で、複数の画面にまたがってウィンドウを広げることが可能です。

【印刷】

- ・表示データを原寸サイズまたは用紙サイズに合わせて印刷できます。
- ・ウィンドウに表示している範囲のみを印刷することが可能です。
- ・範囲指定モードで選択した矩形の範囲のみを印刷することが可能です。
- ・適した用紙(定型)を自動選択して印刷することが可能です。

【合成】

- ・スタンプ(任意の文字、イメージ、バーコード)の合成が可能です。

【サムネイルとパンウィンドウ】

- ・メイン表示画面とサムネイルの2画面表示が可能です。(7 ページ【機能サンプル】-[機能 3])
マルチページのページ選択をサムネイルから行うことができます。
- ・イメージの全景を表示するパンウィンドウの表示が可能です。(7 ページ【機能サンプル】-[機能 6])
メイン画面でイメージの一部分を拡大表示しているときに、メイン画面が全体に対してどの範囲を表示しているかをパンウィンドウで表示します。

【データ処理】

- ・プリント・プロット、CAD データについてはプログラムに拡張子を登録することにより認識します。
ラスターフォーマットデータは自動認識します。
- ・マルチページの表示に対応しています。
- ・プリント・プロット、CAD データをイメージデータに展開して表示します。
- ・PDF はイメージデータに変換して表示することも可能です。
- ・カラーデータを減色して表示することが可能です。
- ・イメージデータを特定のサイズ(A0~A6)に変換してから表示できます。
- ・表示データの回転(90度単位)を行うことができます。上下左右に反転して表示することも可能です。

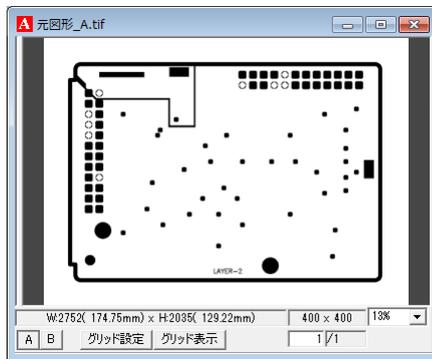
【その他】

- ・表示イメージ(原寸/拡大・縮小)のクリップボードへのコピーや切り取りが可能です。
また、クリップボードにある画像データをイメージスタンプとして貼り付けることも可能です。
- ・範囲を選択して、トリミングや選択範囲外の削除、移動を行うことが可能です。
(8 ページ【機能サンプル】-[機能 7]~[機能 9])
- ・コマンドラインから、ファイルを指定して比較を行うことが可能です。
ただし、パラメータによって設定を変更したり、比較結果を表示せずにファイルに保存したりすることはできません。そのような用途には、弊社別製品『RSDF3RS』のご利用をお勧めします。
- ・TWAIN 対応のスキヤナからデータの読み込みが可能です。
- ・環境設定、保存、印刷などの設定内容を別ファイルに保存することが可能です。

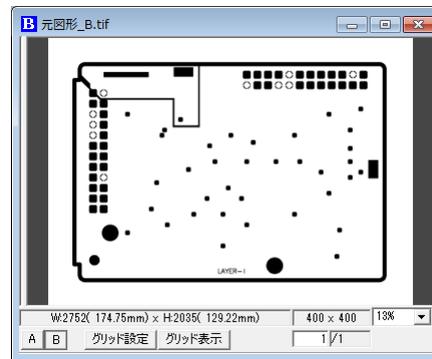
比較サンプル

比較 1 : 図面 A と図面 B を比較

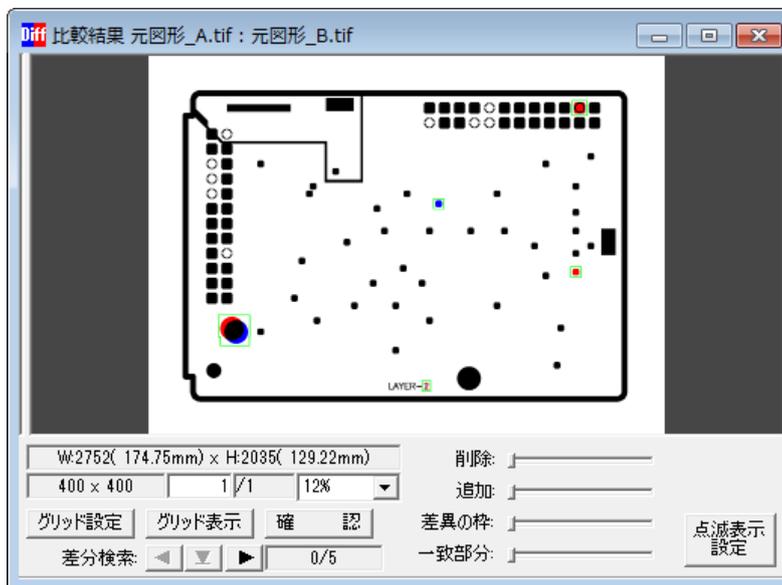
図面 A



図面 B



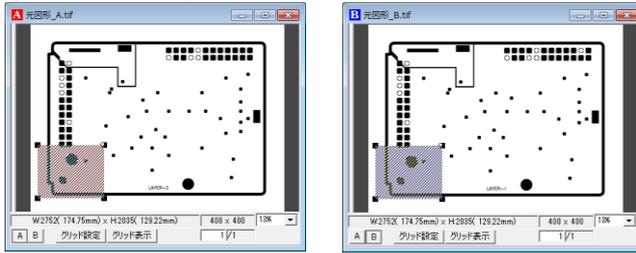
比較結果



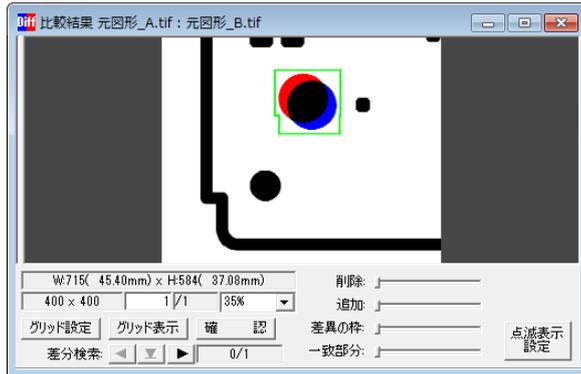
- 赤色 : 削除された箇所です。
- 青色 : 追加された箇所です。
- 黒色 : 変更がなく一致した箇所です。
- 緑枠 : 差分箇所を囲んだ枠です。

比較 2 : 図面 A と図面 B に比較範囲を指定して比較
 図面 A、図面 B を選択後、比較範囲指定モードによって、図面 A か B いずれかの
 イメージビュー上で比較範囲を指定できます。

比較範囲が指定された図面 A と図面 B



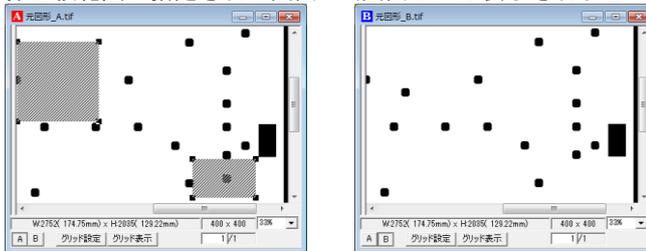
比較結果



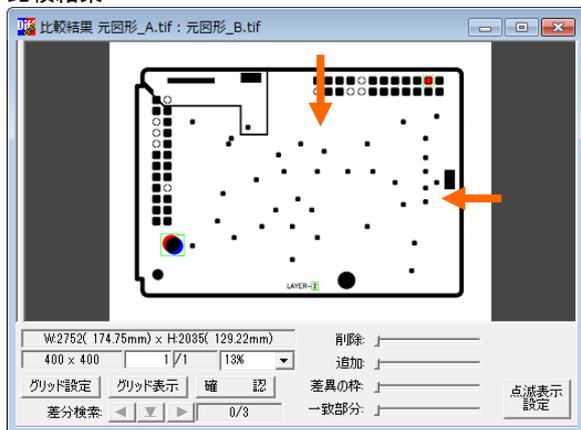
比較範囲を指定した部分のみが比較されます。

比較 3 : 図面 A と図面 B に非比較範囲を指定して比較
 図面 A、図面 B を選択後、非比較範囲指定モードによって、図面 A か B いずれかの
 イメージビュー上で非比較範囲を指定できます。
 ※非比較範囲とは比較の際に差分を検出しない領域のことです。

非比較範囲が指定された図面 A (図面 B には表示されません)



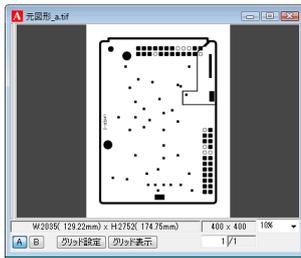
比較結果



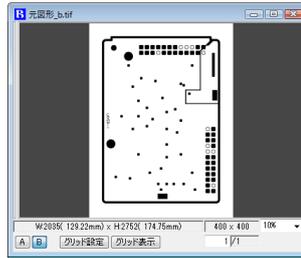
非比較範囲の入力された部分は比較されていません。
 (オレンジの矢印で示した部分。一致と見なされます)

比較 4： 図面 A と図面 B を比較し、他方の図面にない部分の色を変えた結果を並べて出力
比較オプションを使用することで、比較結果を並べることもできます。

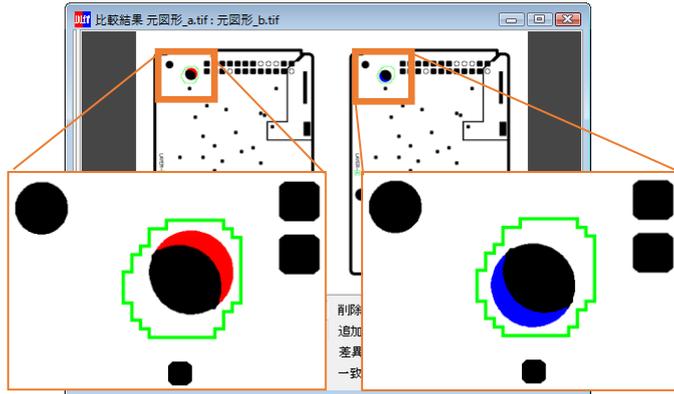
図面 A



図面 B



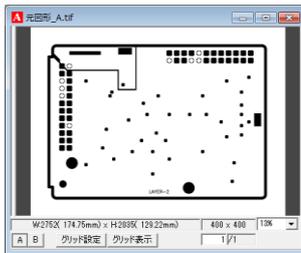
比較結果



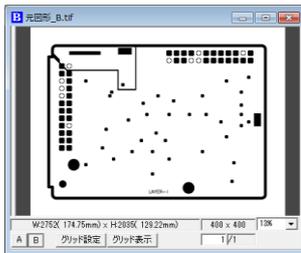
元の図面を並べたような結果ですが、図面 A と B を重ねたときに、
A にしかない部分が赤、B にしかない部分が青になっています。

比較 5： 図面 A と図面 B を比較し、比較結果に差分箇所のみをまとめる
比較オプションを使用することで、差異のある部分のみをまとめることもできます。

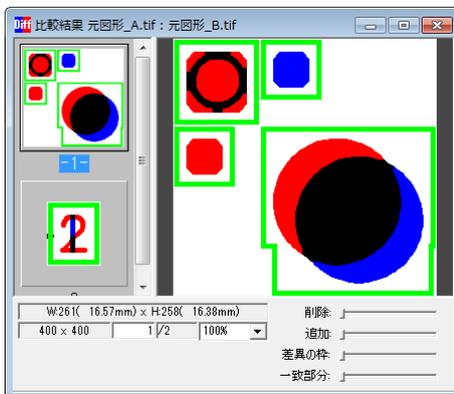
図面 A



図面 B



比較結果



差分箇所が、1 ページに 4 箇所ずつまとめて表示されます。

機能サンプル

機能 1： 比較設定の保存と読み込み

比較条件を任意の名称で最大 20 件、保存できます。
比較図面や利用者ごとに設定を保存できます。

機能 2： 環境設定などの設定情報の保存と読み込み

環境設定などの設定情報を任意の名称で保存できます。

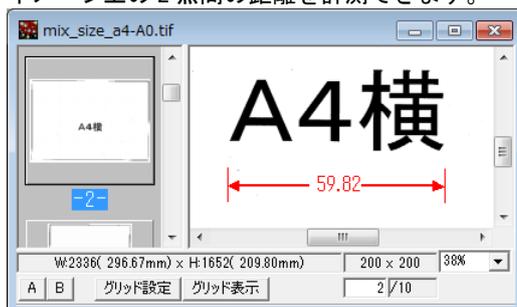
機能 3： サムネイル表示

ページ一覧を表示できます。



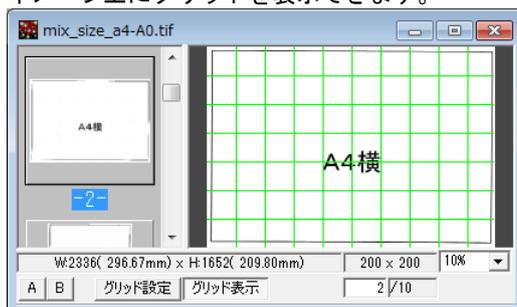
機能 4： 2 点間距離計測

イメージ上の 2 点間の距離を計測できます。



機能 5： グリッド表示

イメージ上にグリッドを表示できます。



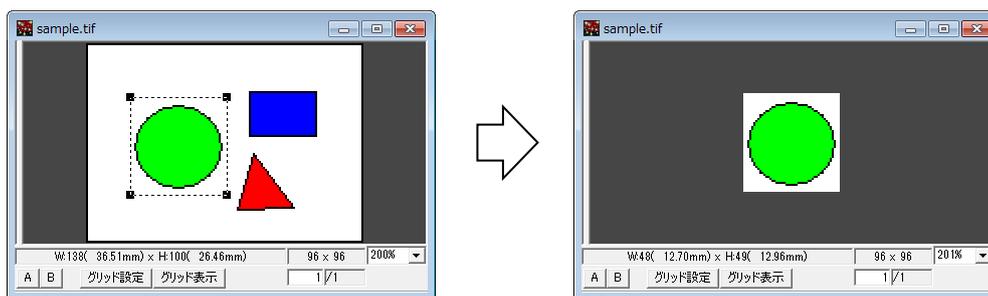
機能 6： パンウィンドウ (全景ウィンドウ)

イメージビューに表示しているイメージの拡大縮小や表示範囲の変更を行うことができます。



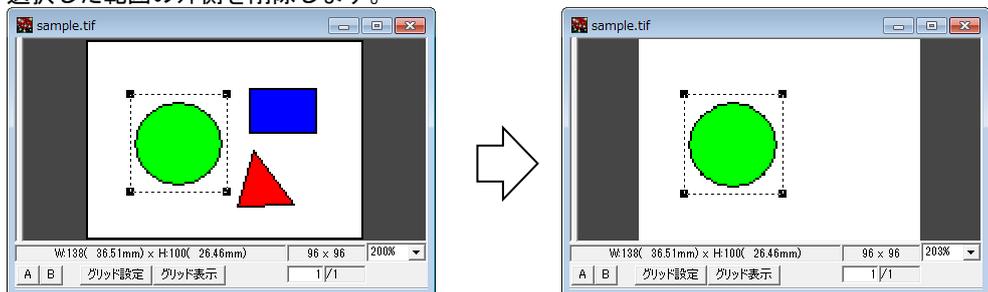
機能 7：トリミング

選択した範囲でイメージを切り抜きます。



機能 8：外側削除

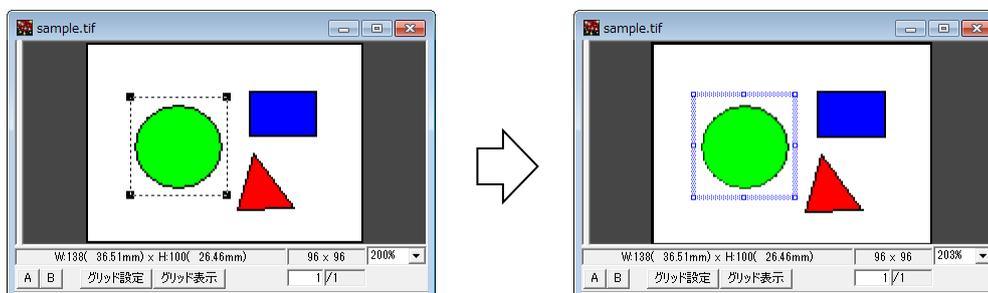
選択した範囲の外側を削除します。



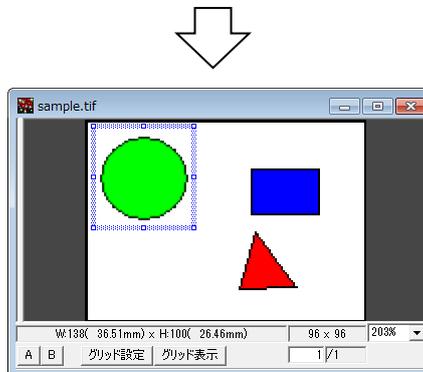
機能 9：移動

選択した範囲を移動できるようにします。

これは、[切り取り]と[貼り付け]を組み合わせた操作とほぼ同じになります。



選択した範囲をドラッグで移動できます



サポートラスターフォーマット

フォーマット	説明
AFX (※1)	AutoFX Format
BMP	Microsoft Windows Bitmap
BRK / 301	Brooktrout
CAL / CALS	CALS(Computer Aided Acquisition and Logistics Support) Raster Type I/II
CCRF (※1)	Calcomp Raster
CLP	Windows Clipboard
CUR (※1)	Microsoft Windows Cursor Format
CUT (※1)	Dr. Halo
DCX	Graphics Format for Fax(Multiple PCX)
DIB	Microsoft Device Independent Bitmap
EDMICS (※1)	EDMICS Raster(MMR, RLC)
EPS	Adobe Encapsulated PostScript File
EXIF (※1)	JEIDA Exif(Exchangeable image file format)
FORMTEK (※1)	FORMTEK Raster
FPX	Kodak FlashPix
FX_RASTER (※1)	FX-MMR
G3	MH - Modified Huffman
G3 2D	MR - Modified Read
G4	MMR - Modified MR
GEM / IMG (※1)	Digital Research GEM(Graphical Environment Manager) Raster
GIF	GIF87a/GIF89a
GTX_G4 (※1)	GTX Raster (G4)
ICA / IOCA	IBM Image Object Content Architecture
ICO (※1)	Microsoft Icon Resource File
IFF	Interchange File Format
IMG (※1)	Xerox IMG Print Format
IMT	IMNET
J2K	JPEG2000
JPEG / JFIF	JPEG(Joint Photographic Experts Group) File Interchange Format
KFX (※1)	Kofax Group 4
LV (※1)	Lazer View format
MAC / PNTG (※1)	Macintosh Paint(MacPaint)
MIEL (※1)	FUJITSU MIE~L(MMR 圧縮)
MO:DCA / IOCA	IBM Mixed Object Document Content Architecture
MSP (※1)	Microsoft Paint
NCR	NCR Group 4
NSXPRESS (※1)	NSXPRESS(MMR, MR, MH)
PBM	Portable Bitmap File Format
PCD (※1)	Kodak Photo CD
PCT / PICT	Macintosh PICT
PCX	PC Paintbrush File Format
PDF	Adobe Portable Document Format 1.7
PGM (※1)	Portable Graymap File Format
PJPEG	Progressive JPEG
PNG	Portable Net Graphics
PNM (※1)	Portable Any-Map File Format
PPM (※1)	Portable Pixmap File Format
PSD	Adobe Photoshop
RAS / SUN	Sun Raster Data Format

フォーマット	説明
SGI	Silicon Graphics Image
TGA	Truevision Targa
TIF / TIFF	Tagged Image File Format
TOSFILE (※1)	TOSFILE (MMR, MR, MH)
WMF	Microsoft Windows Metafile
WPG (※1)	WordPerfect Graphics Metafile
XBM	X BitMap
XDW (※1※2)	DocuWorks
XPM	X PixMap
XWD	X Window Dump

※1 読み込み専用フォーマットです。

※2 XDW (DocuWorks) を表示するには別途、富士フイルムビジネスインペーション社製品 DocuWorks 6~9.1 のいずれか (8.0.3 除く) が必要になります。ただし、サブスクリプション版の DocuWorks には対応していません。

サポートベクターフォーマット

フォーマット	説明
HP-GL, HP-GL/2	HP-GL/2 (ラスター) にも対応しています。
DXF	R12J, R13J, R14J, 2000, 2004
DWG	R12J, R13J, R14J, 2000, 2004
MicroCADAM-OFI	ベクター、ラスター混在のデータにも対応しています。
GERBER	RS274D, RS274X に対応しています。

サポート圧縮タイプ

CCITT Group 3 (MH - Modified Huffman)
CCITT Group 3-2D (MR - Modified Read)
CCITT Group 4 (MMR - Modified MR)
Deflate
Huffman
IBM MMR
JPEG (Joint Photographic Experts Group)
JPEG2000
Lossless JPEG
LZW (Lempel-Ziv-Welch)
Packbits
Progressive JPEG
RLE (Run Length Encoding)

制限事項

- ・ブラウザのプラグインには対応していません。(拡張子の関連付けのみサポート)
- ・「総ドット数を 119,557,200 ドットに制限する」という機能があります。カラーデータを表示する場合、この機能が有効になっていると、ページごとに総ドット数(縦×横)の確認を行います。総ドット数が 119,557,200 ドットを超えているページがあると、メッセージが表示されます。
- ・2値(モノクロ)データの処理において、CAD 図面のような画像であれば A0 以上の長尺サイズが表示が可能ですが、写真を誤差拡散で 2 値化したような画像の場合、上限が下がることがあります。また、表示できるサイズは環境の空きメモリ量とメモリの断片化の状態に大きく依存します。目安のサイズについては、弊社ホームページの製品の Q&A をご覧ください。
- ・マルチページを表示する場合、シングルページの表示と比べて制限があります。ページ数の多いマルチページデータは表示できない場合があります。
- ・印刷機器、データサイズ、印刷条件によって用紙を自動選択できない、または正常に印刷できない場合があります。
- ・GIF データの制限
バージョン 87a/89a、モノクロ/1~8 ビットカラー、256 以下のパレットのものが読み込み可能です。幅/高さが、65,536 ドット以下のものが保存可能です。
- ・表示時に、「メモリ不足」などのメッセージが表示されたファイルは、印刷することができません。また、印刷可能な用紙サイズは印刷対象のプリンタドライバに依存します。
- ・PDF データを表示する場合、色の反転表示やカラーをグレースケールにするなどの機能には対応していません。表示可能な拡大倍率は 3000%までです。また、PDF データにスタンプ合成を行うことはできません。
- ・表示可能な PDF ファイルのバージョンは、PDF1.7(Acrobat8.0)形式までです。
- ・PDF ファイルの読み込み速度と読み込んだ後の動作(拡大・縮小、スクロール、回転、表示切り換え)にかかる時間は、読み込み対象となる PDF ファイルのデータ量(ページ数や用紙サイズなど)に比例して増加します。

DWG (DXF)

- バイナリー形式の DXF フォーマットには対応していません。
- R12J, R13J, R14J, AutoCAD 2000 形式のデータに対応しています。
- AutoCAD 2004 形式のデータも表示できますが、AutoCAD 2004 以降で追加された図形には対応していません。
- 2次元データのみサポートします。3次元には未対応です。
- 文字のフォント名称、反転は未対応です。ただし、XY 両方向の同時反転のみ対応します。
- 特殊文字未対応です。
度(°)、±、%、直径(φ)、アスキー記号、オーバーライン、アンダーラインは対応可能です。
- シェイプファイル(拡張子 SHX のフォントファイル)の変換に対応しています。
シェイプファイルは、変換環境に存在している必要があります。
指定されたシェイプファイルがない場合には、bigfont.shx, txt.shx を使用します。
シェイプファイルの文字幅/高さの編集はできません。
サポートしているシェイプファイルは、「Unifont1.0, bigfont1.0, shapes1.1」です。
シェイプを使用した文字列のベクター変換において、文字列傾斜には対応していません。
指定されている場合、0度として変換します。
- モデル空間のみの対応となります。ペーパー空間(レイアウト)には未対応です。
- ポリラインのメッシュ処理は未対応です。ただし、幅付きデータは開始点の線幅を利用します。
- 線種パターン長は有効ですが、パターンは出力フォーマットにより異なる場合があります。
- ユーザ定義の寸法線は未対応です。
- 拡張データ、XRECORD(拡張レコード)は未対応です。
- R13J 以上のコマンドの中で下記コマンドは未対応です。
3DFACE, BODY, OLEFRAME, REGION, 3DSOLID, OLE2FRAME, VIEWPORT
- R14J 以上のコマンドの中で下記コマンドは未対応です。
IMAGE, ACAD_PROXY_ENTITY, WIPEOUT
上位バージョンから下位バージョンのデータに保存したり、通常版の AutoCAD 以外(Mechanical などの)データを保存したりすると、保存するバージョンにない要素が ACAD_PROXY_ENTITY となる場合があります。
- OLE 等を使って貼り付けたデータ(MS-WORD, MS-EXCEL 等)は未対応です。
- HATCH データの島形状処理では、SOLID パターンは最外郭で処理します。
それ以外のパターンは2重の島形状まで対応します。
- 外部参照データについて、イメージファイルのみ可能です。
ブロック図形の外部参照(ファイルをリンク参照)は未対応です。
- RAY, XLINE について、図面範囲の最大/最小で切断し、線分で出力します。
- 押し出し方向の指定には、対応していません。
- 円弧の始終角が同一の場合データを削除します。
- AutoCAD 独自の線種には対応していません。
(BATTING, FENCELINE1, FENCELINE2, GAS LINE, HOT_WATER_SUPPLY, TRACKS, ZIGZAG)
- MTEXT 以外の文字での制御コード(上線、下線)については対応していません。
- SPLINE の変換結果は、AutoCAD 画面上に表示される画と、必ずしも一致するとはかぎりません。
- マルチテキスト(MTEXT)の制限を以下の通りとします。
 - ◆ 文字幅については未対応です。
 - ◆ 文字列の中央揃え、右揃えのときの文字位置は必ずしも正確に一致するとはかぎりません。
 - ◆ 縦方向の位置あわせは中央に固定して出力します。
 - ◆ フォントの幅高の違いにより、自動改行の位置や、文字出力位置は必ずしも一致するとはかぎりません。
 - ◆ 上下複数行表記は可能ですが、行間隔には未対応のため、上下の文字位置については、入力データと異なる場合があります。
 - ◆ 縦書きの場合、1行で、かつ一定の条件で書かれたもののみ対応します。
 - ◆ 複数行のときに、改行のみの文字列が含まれる場合や、分子や分母に文字列が存在しない分数を含んでいる MTEXT の場合は、文字の出力位置が AutoCAD 上の表示位置とは一致しません。
- AutoCAD で扱うことのできない図形データについては、データを無視して変換します。